

大雪に響き渡るはしやぎ声

2月8日～9日、県内で観測史上最深の積雪



▲真っ白になった景色に目を輝かせる子どもたち。思いっきり雪遊びができて大満足（2月10日、ゆりのき台保育園で撮影）

2月8日から9日未明にかけて、本州の南岸を進んだ低気圧と寒気の影響で、関東地方は記録的な大雪となりました。県内でも13年ぶりに大雪警報が発令され、観測史上最深積雪の33センチを記録（銚子地方気象台発表・観測地点千葉市）。大雪の影響で鉄道など公共交通機関も運転を見合わせ、211人の帰宅困難者のために八千代台小学校と勝田台小学校に一時滞在施設を開設しました。

9日は雪がやむと、雪かきに汗を流す多くの人の姿が見られました。一方、かまくらや雪だるまを作り、雪合戦やそり遊びを楽しむ姿も。市内ではなかなか体験できない大雪で、街中には子どもたちのはしやぎ声が響き渡りました。

今号の紙面から



◆電気器具や配線による火災が増えています

.....2・3

◆お年玉付広報アンケート結果.....3

◆青少年版「最近学校や友達・家族の間で流行っていること」.....4・5

災害発生時の心得

「むやみに移動を始めてはならないで、落ち着いた行動を」

大規模な災害が発生すると、公共交通機関がストップし、帰れなくなる可能性があります。多くの人が一斉に帰宅を始めると、路上や鉄道の駅周辺では大混雑が発生し、集団転倒に巻き込まれたり、火災や沿道の建物からの落下物などで負傷したりする恐れがあるほか、救助・救急活動の妨げになります。

「むやみに移動を始めてはならない」

・身の安全を確保し、職場や集客施設など安全な場所にとどまる
・災害用伝言サービスで家族の安否などを確かめる
・交通情報や被害情報などを入手する
・流言飛語に惑わされない
【目ころから準備しておきたいこと】

・携帯ラジオや地図を持ち歩く
・職場にスニーカーや懐中電灯、手袋、飲料水や食料などを用意する
・家族などと安否確認の方法や集合場所、帰宅経路を確認しておく

●市では、「やちよ情報メール」で防災情報などを配信しています。3ページに掲載しているQRコードから登録を

(総合防災課・消防本部警防課)

家具などの転倒防止に努めましょう

大地震の時は、家具やオフィス器具の転倒・落下・散乱などで、大けがや死亡してしまう恐れがあります。家庭や事業所で、家具を固定するなどの対策を進めましょう。引越しやオフィスのレイアウト変更の時にも対策を忘れないでください。

(総合防災課)

家具固定の一例



▲L字金具



▲ベルト式金具



▲粘着シート

八千代フリーマーケットを
3月8日(土)に市役所駐車場で開催

八千代フリーマーケット実行委員会では、家庭で不用になった物品の再利用を目的にフリーマーケットを開催します。駐車場に限りがありますので、来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。なお、出店者の募集は終了しています。

▼日時 3月8日(土)午前9時～午後1時30分。雨天時は翌9日(日)に順延 ▼場所 市役所駐車場 (クリーン推進課)

